株式会社フコク(東証プライム:5185)
2026年11月18日

第2四半期決算説明会

2027年3月期

Yes, We Do!

Copyright © Fukoku Co., Ltd.
All Rights Reserved.

Agenda

1. 決算のポイント
2. 2027年3月期第2四半期実績/2027年3月期業績予想
3. セグメント別・地域別の状況
4. 株主還元
5. 事業の取り組みの進捗
6. 次期中期経営計画に向けて

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 決算のポイント

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 決算のポイント

2027年3月期第2四半期実績

売上高： **増収** 機能品事業、防振事業、ホース事業の売上高が堅調に推移
営業利益：**増益** 売上増に加え、**生産性向上や価格適正化努力**および**赤字低採算製品の削減効果**が、原材料費や労務費等の上昇による影響を上回った

2027年3月期通期業績予想

当中間期までの**中東情勢が当社業績に与える影響**、また原材料等上昇に対する**売価反映**の取組状況、および、これらの**第3四半期以降の業績への影響**等を考慮し**上方修正**

世界情勢また自動車業界は不透明な状況下ではあるものの、当社は収益の拡大と資本効率の向上を最優先とし、次の成長に向けた変革に取り組んでおり、一定の成果が見えてきている

売上高 850億円 → **900**億円　　**営業利益** 33億円 → **40**億円 へ

配当

中間配当は当初計画通り**50円**
期末配当も当初計画通り**50円**とし、通期で前年より**15円増配の100円** を計画

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

第2四半期業績 概要

（単位：百万円）
※pp＝パーセンテージポイント

	2026年3月期 第２四半期 実績	2027年3月期 第２四半期 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	44,372	**46,769**	2,397	**+5.4%**
営業利益	1,549	**2,494**	945	**+61.0%**
（売上高対営業利益率）	(3.5%)	**(5.3%)**	(+1.8pp)	
経常利益	1,527	**2,665**	1,138	**+74.5%**
（売上高対経常利益率）	(3.4%)	**(5.7%)**	(+2.3pp)	
当期純利益*	948	**1,658**	710	**+74.9%**
（売上高対当期純利益率）	(2.1%)	**(3.5%)**	(+1.4pp)	

増収に加え、生産性向上や価格適正化および赤字低採算製品の削減の効果が、原材料費や労務費等の上昇による影響を上回る

*親会社株主に帰属する中間期純利益

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

通期業績予想　概要

（単位：百万円）

※pp＝パーセンテージポイント

	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想（修正）	前年増減額	前年増減率
売上高	90,025	**90,000**	△ 25	**△0.0%**
営業利益	3,806	**4,000**	194	**+5.1%**
（売上高対営業利益率）	(4.2%)	**(4.4%)**	(+0.2pp)	
経常利益	3,864	**4,000**	136	**+3.5%**
（売上高対経常利益率）	(4.3%)	**(4.4%)**	(+0.1pp)	
当期純利益	1,144	**2,800**	1,656	**+144.6%**
（売上高対当期純利益率）	(1.3%)	**(3.1%)**	(+1.8pp)	

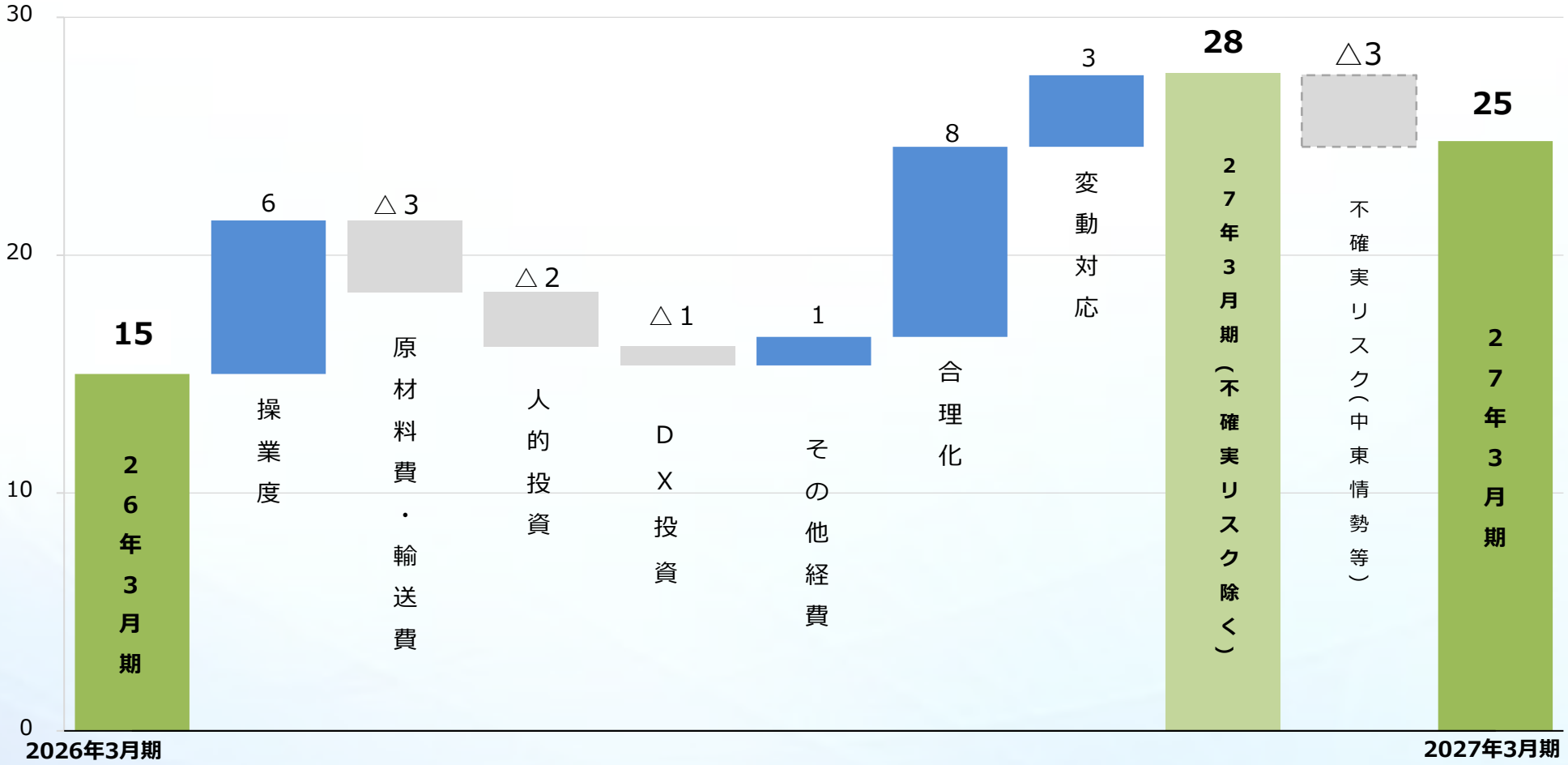
第2四半期までの中東情勢影響、売価反映の取組状況、これらの第3四半期以降の業績影響等を考慮し、上方修正

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

（単位：億円）

第2四半期実績　差異要因 営業利益（前期比）



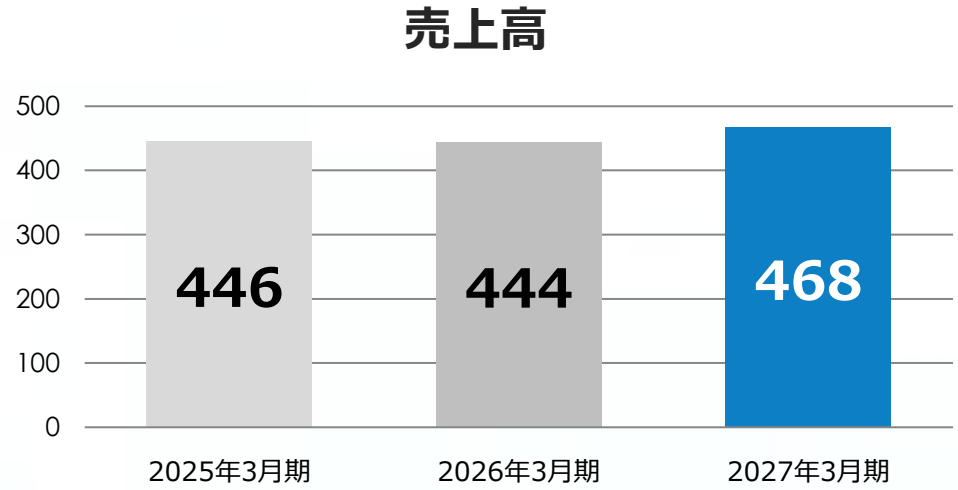
増収と合理化・変動対応の効果、中東情勢影響を想定より抑制したこと等により増益

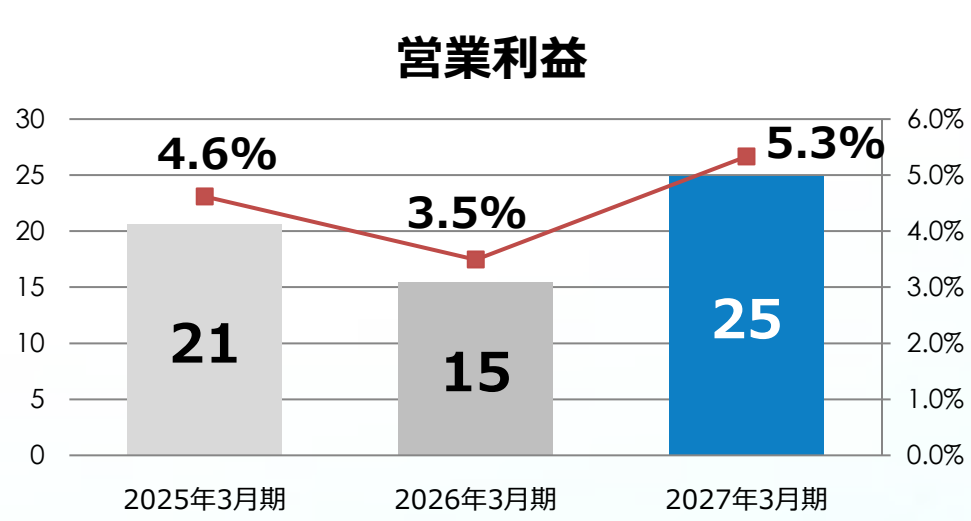
 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

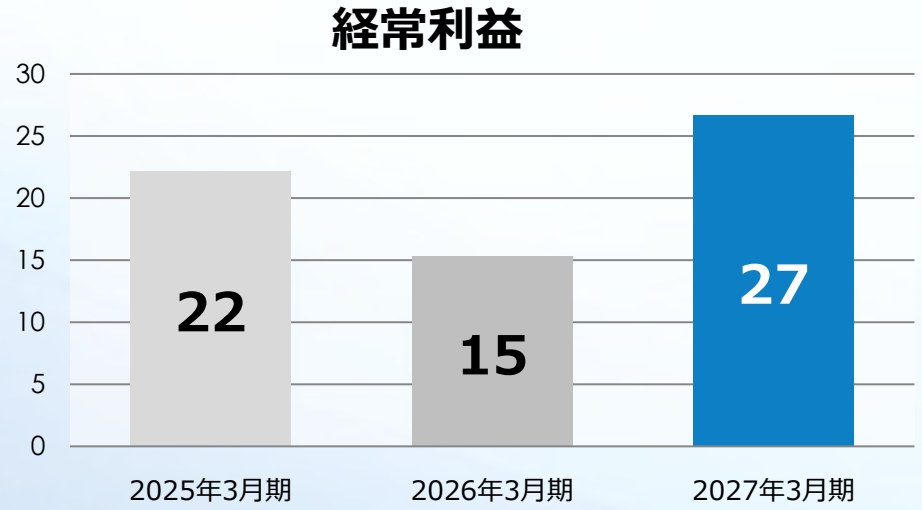
2. 2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

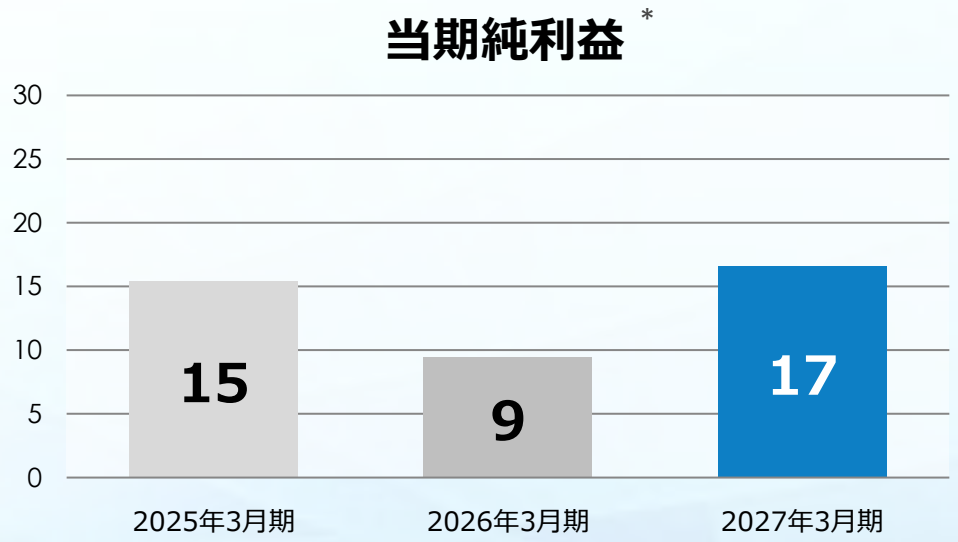
第2四半期実績推移

（単位：億円）









*親会社株主に帰属する中間期純利益

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

財政状態、キャッシュ・フロー概要（連結）

（単位：百万円）

PL	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績	前年増減額
売上高	44,372	46,769	2,397
営業利益	1,549	2,494	945
経常利益	1,527	2,665	1,138
当期純利益	948	1,658	710

BS	2026年3月期 実績	2026年9月期 実績	前年増減額
流動資産計	48,043	49,314	1,271
固定資産計	33,643	34,393	750
資産計	81,686	83,708	2,022
負債計	37,881	38,505	624
自己資本	40,869	42,266	1,397
純資産計	43,805	45,203	1,398
負債・純資産計	81,686	83,708	2,022

CF	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績	前年増減額
営業活動によるＣＦ	3,944	3,871	△ 73
投資活動によるＣＦ	△ 2,964	△ 3,307	△ 343
財務活動によるＣＦ	△ 1,557	△ 435	1,122
フリー・キャッシュ・フロー	980	564	△ 416

- 売上高は、機能品事業、防振事業、ホース事業が堅調に推移

- 資産の増加は販売伸長による売掛金増による
- 純資産の増加は売上伸長による利益剰余金の増加による

- 財務活動によるCFは増加
  将来の金利上昇を見据え、資金調達の長期化および金利固定化を推進

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

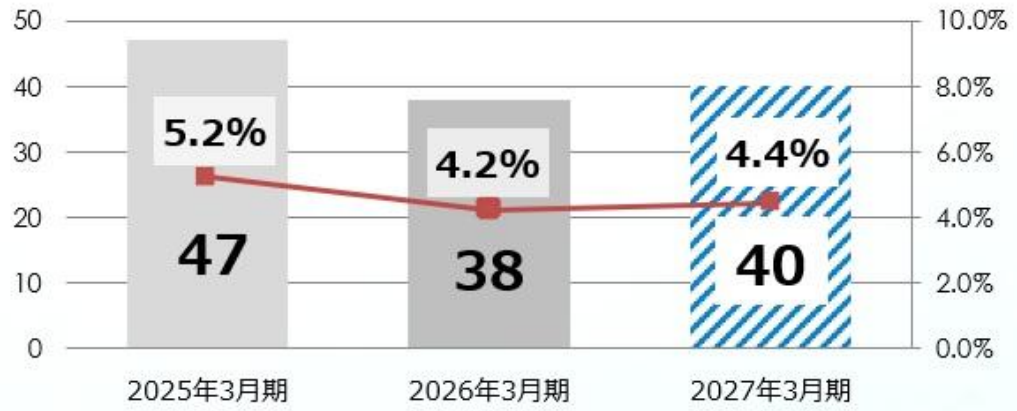
通期業績予想推移

（単位：億円）

売上高



営業利益



経常利益



当期純利益

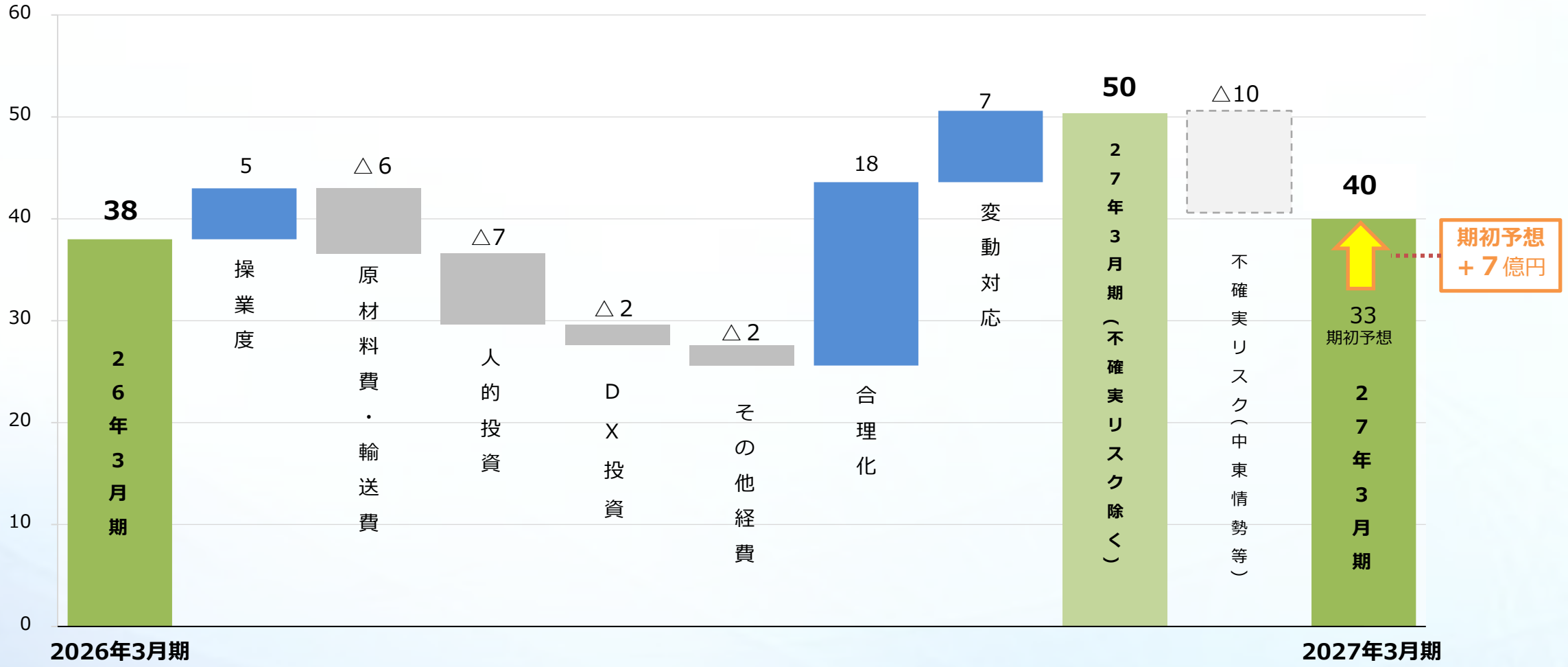


 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2027年3月期第2四半期実績 及び 通期業績予想

通期業績予想　差異要因 営業利益（前期比）

（単位：億円）



第3四半期以降は中東情勢影響の悪化が見込まれるが、変動対応と合理化を滞りなく進め、増益を目指す

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

3． セグメント別・地域別の状況

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

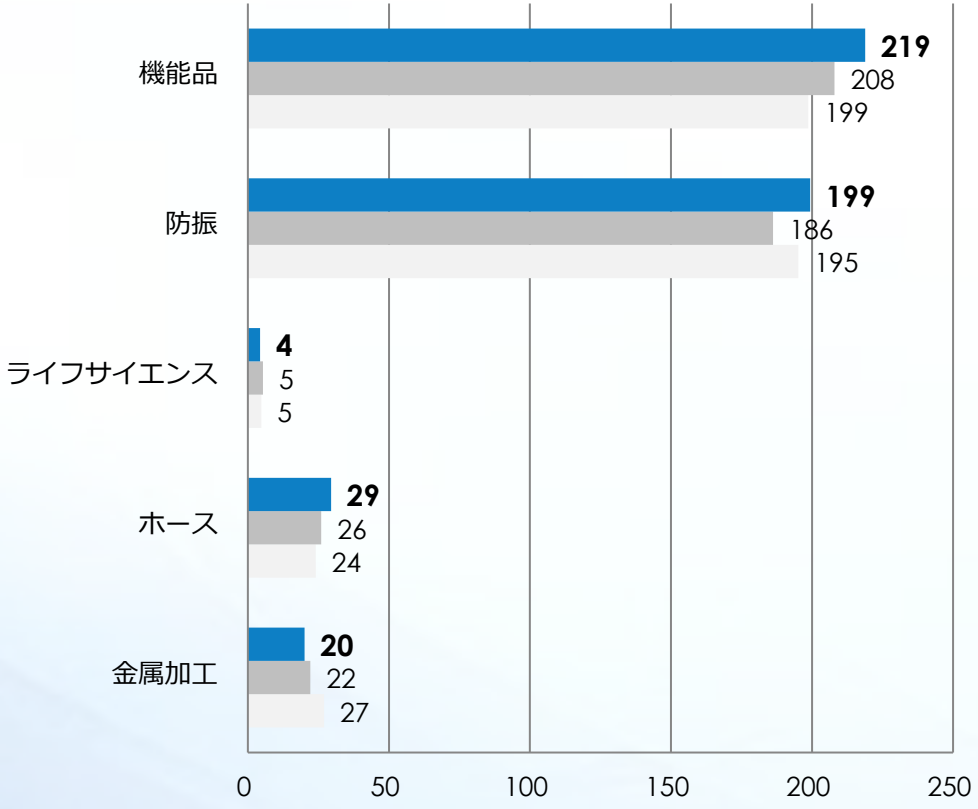
3. セグメント別・地域別の状況

セグメント別（第2四半期）

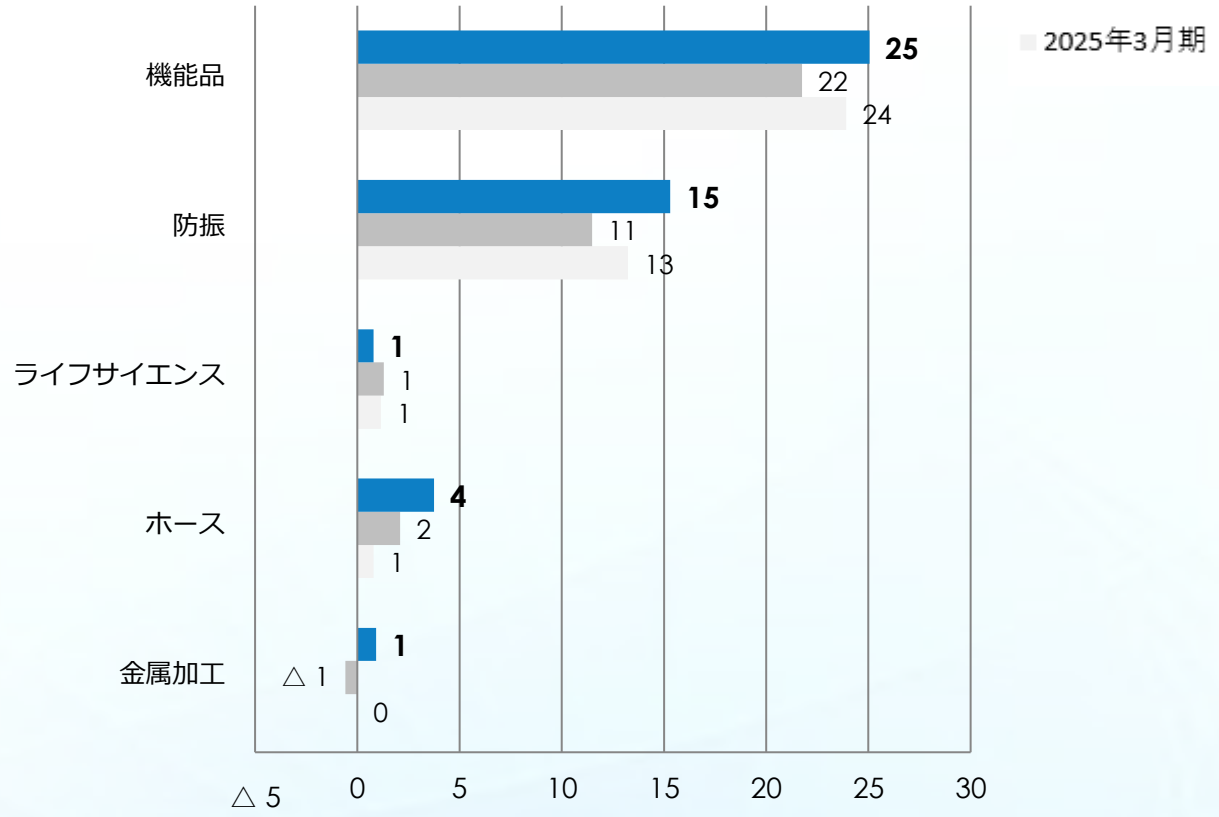
（単位：億円）

※ 連結調整考慮前

売上高



営業利益



機能品・防振・ホースが増収・増益、ライフサイエンスは減収、金属加工は事業再編効果により黒字化

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

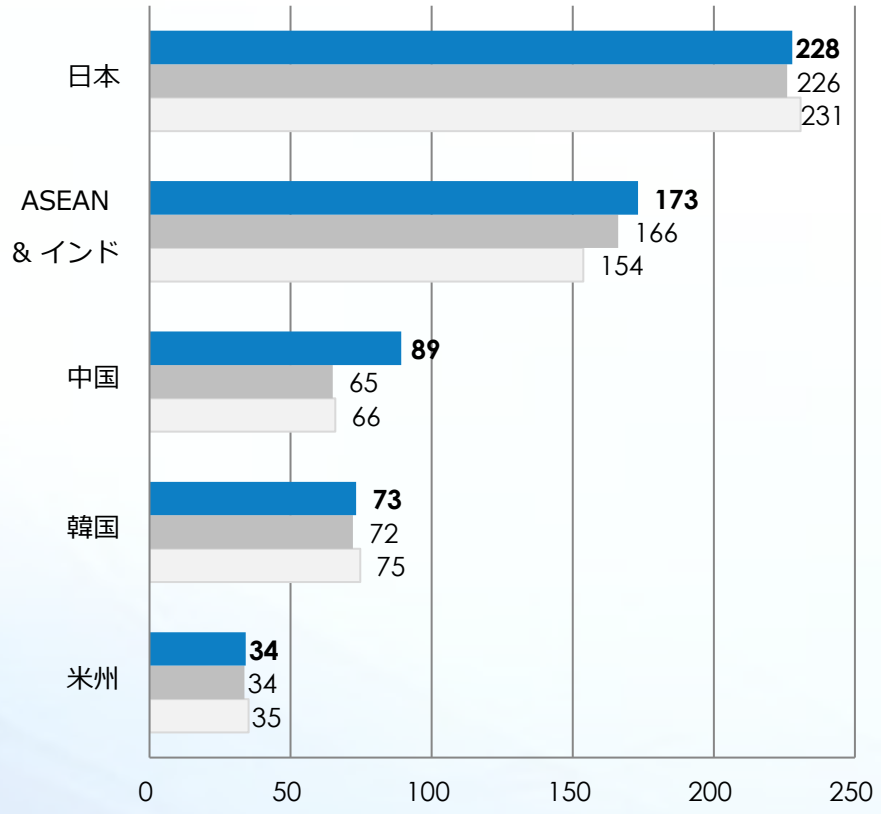
3.　セグメント別・地域別の状況

地域別（第2四半期）

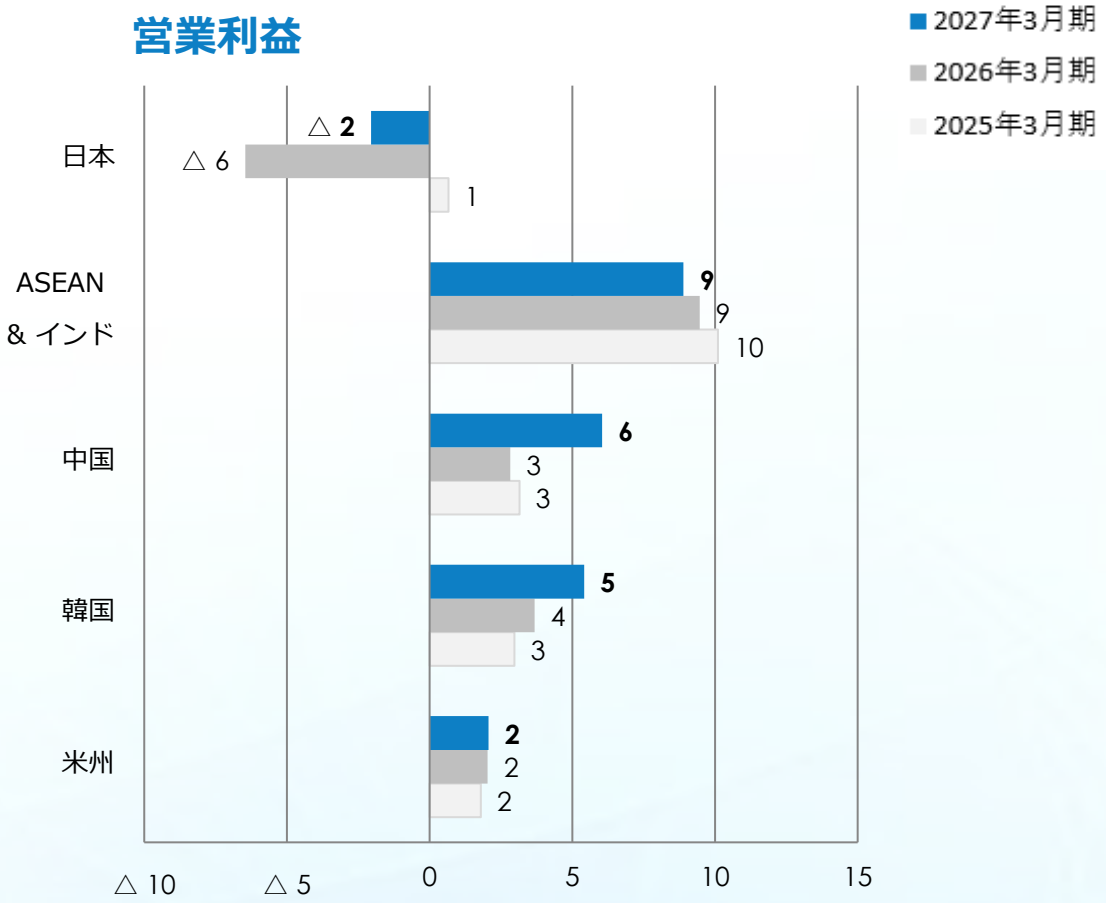
（単位：億円）

※ 連結調整考慮前

売上高



営業利益



ASEANは中東情勢等による材料費等の高騰や為替の影響で減益。価格転嫁、合理化を進め挽回を図る

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. 株主還元

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

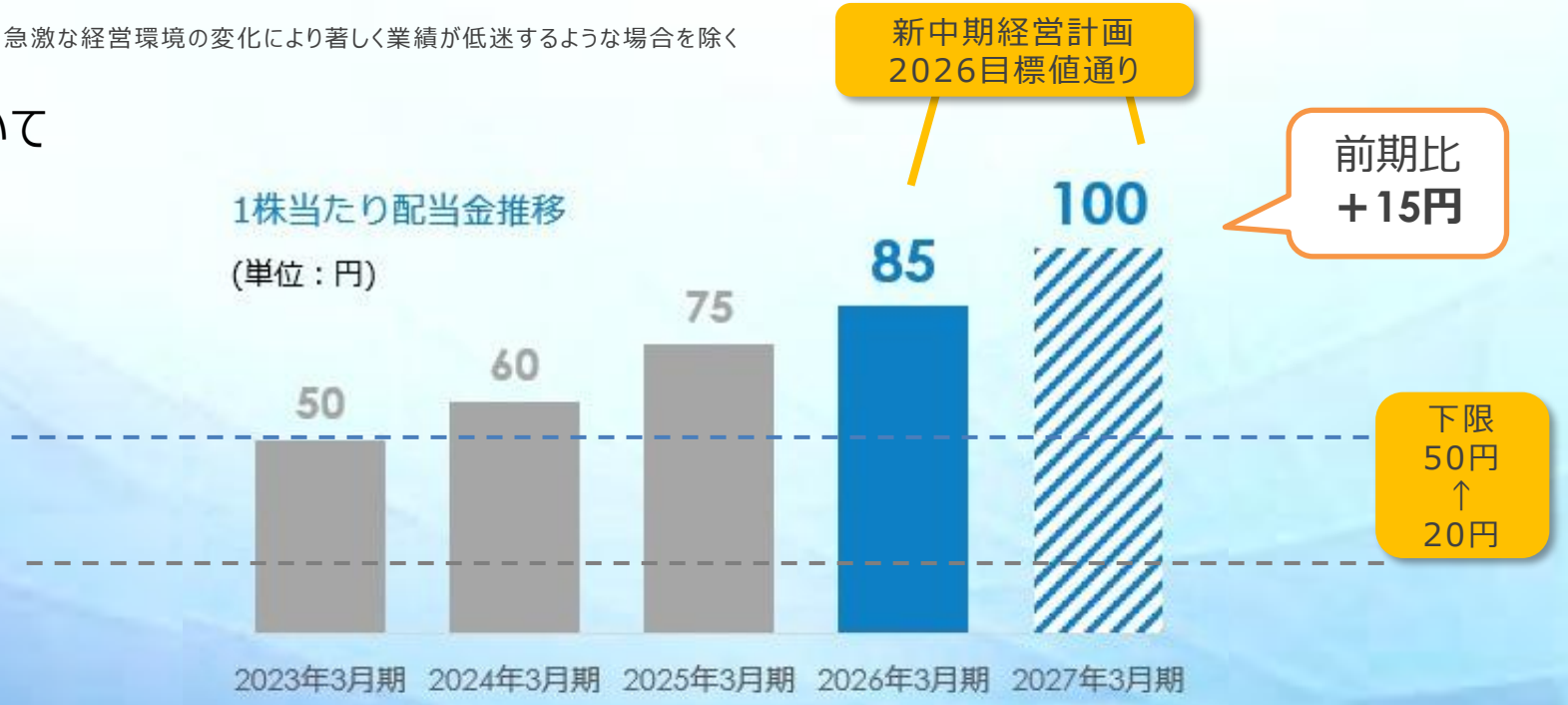
4. 株主還元

株主還元の考え方（配当政策の基本方針）

- 配当性向を**30%から40%**に、配当金下限を1株当たり**20円から50円**に引き上げる
- 1株当たり配当は、第3四半期以降の中東情勢影響等を見据え、計画通り中間配当**50円**、通期計画**100円**
- DOEも意識しつつ、今後も株主還元の充実を図っていく

※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

配当金について



 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　事業の取り組みの進捗

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　事業の取り組みの進捗

中期経営計画2026　事業戦略の両輪

既存事業の強化

ソリューションビジネスによる拡販

- シミュレーション設計
  ～実車評価技術/中国Ｒ＆D強化
- インドＲ＆D機能設置

強い成長地域への拡販

- インド・インドネシアでの技術・生産体制強化

ものづくり力変革と人材育成強化

- 革新的工法の構築／自動化／IoT導入
- グローバル人材育成の強化

成長事業・新事業の拡大

インダストリアル向け製品等の拡大

ファクトリーオートメーション	精密シールの開発/量産体制の確立
新エネルギー	水素燃料用シール・ 風力発電用着雪防止コートの開発
航空/宇宙	防振マウントの開発

CASE市場への拡大

バッテリー	・進化し続けるEV製品用ホールドシートの開発・拡販 ・放熱ギャップフィラー・大型電池用防振製品の開発・拡販

ライフサイエンス製品の拡大

バイオ	細胞培養バッグ・培地、化粧品原料
細菌検査	薬剤耐性菌検査チップの量産体制確立、拡販

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

既存事業の強化 －ソリューションビジネスによる拡販（ワイパー）

中国市場・上海テクニカルセンター移転による機能強化

自動車産業集積地域がある安亭エリアへ移転し、
評価設備・試験解析能力を拡充

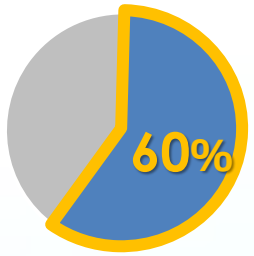
■目的
- 主要顧客との関係強化
- 開発スピードへ対応

■効果
- OEM・ティア1との接点強化
- 開発リードタイムの短縮
  →受注拡大・品質向上

自動車産業集積地域
安亭エリアへ



中国におけるワイパーブレードラバー
販売シェア　(2026年当社調べ)











伸びる市場・地域における「ソリューションビジネス」を強化し、市場シェアのさらなる拡大へ

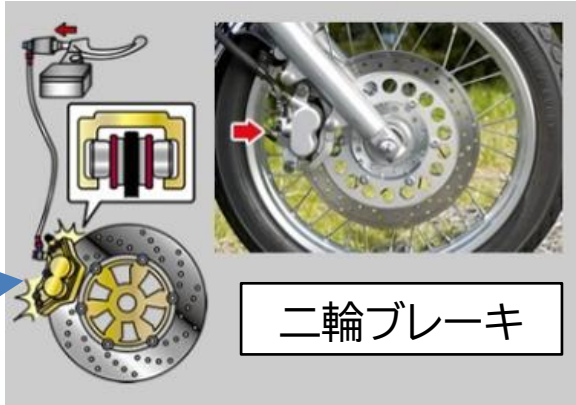
Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

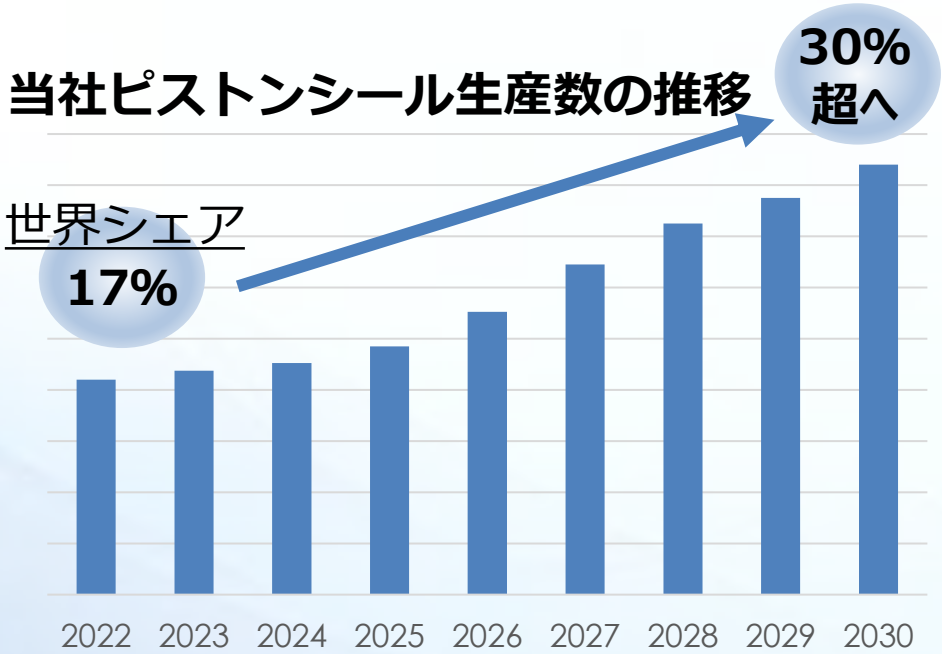
既存事業の強化 －強い成長地域への拡販（インド）

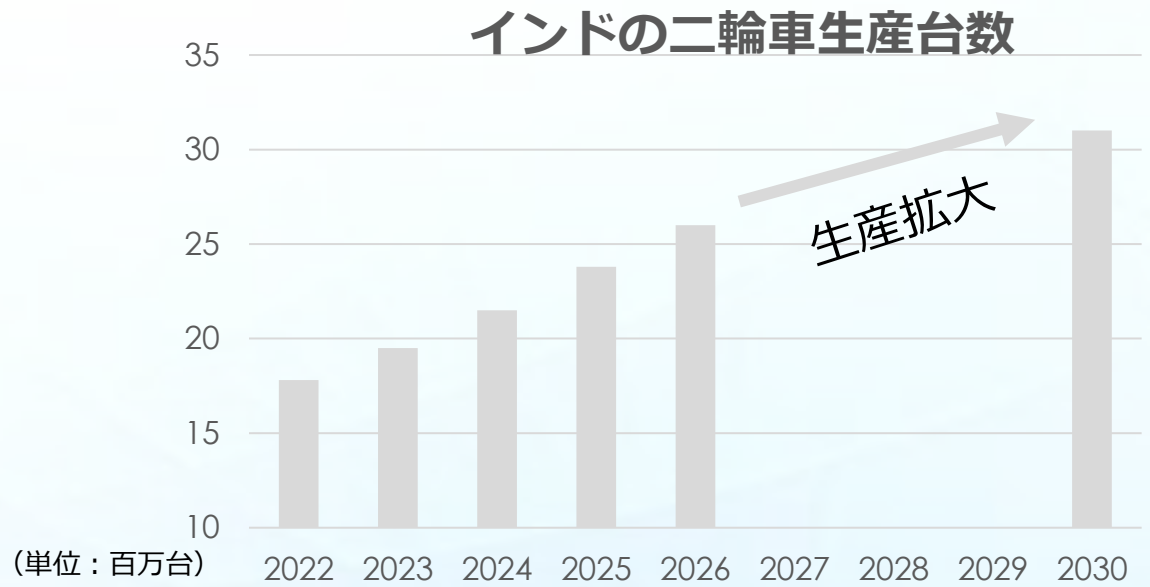
- インドでは二輪車の安全規制強化のためブレーキ部品の需要拡大
- インドの二輪市場は世界最大で今後も拡大が見込める
- 当社ピストンシール（ブレーキ用重要保安部品）の拡販機会



ピストンシール







（単位：百万台）

出典：各種発表および情報ソースよりマークラインズ作成）*2025まで

需要が拡大するインド市場で拡販推進

※世界シェア: 当社調べ

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

既存事業の強化 －強い成長地域への拡販（インドネシア）

インドネシア生産基盤の再構築

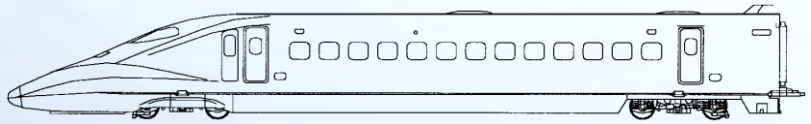
■現調化要請に伴い、インドネシアの事業
（商用車防振部品・鉄道部品・ホース等）を
効率的に再構築

■インドネシア拠点の統廃合（2027年度に生産吸収予定）
工場を集約して生産基盤をより強固に整備
生産キャパシティを増強して増産対応に備える

■当社インドネシア拠点は順調に成長
（売上高　2021年度36億円 → 2025年度54億円）



フコク東海ゴムインドネシア　集約先の新工場外観





（貨物列車向け）
軸ゴム



一本リンク緩衝ゴム



ホース

成長市場であるインドネシアで、今後の増産を見据え生産効率向上・キャパ増強

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　事業の取り組みの進捗

成長事業・新事業の拡大－バッテリー周辺製品

バッテリー周辺製品への注力



熱マネジメント

バッテリーホールドシート/ギャップフィラー

■ **放熱ギャップフィラー採用モデルの増加**

新たに現代起亜自動車向け**の受注を獲得**
（27年以降量産予定）



放熱ギャップフィラー

	既存	新規受注	
モデル名	◆起亜自動車 EV3 ◆現代自動車CASPER EV（日本名 INSTER）	◆現代自動車 PORTER EV ◆起亜自動車 PV7	◆現代自動車 KONA EV
材質仕様	シリコーン	シリコーン	シリコーン
量産時期	量産中	2027年	2027年

■ **ラインアップ拡充、多様なニーズへの対応**

データセンター等を含む各種の
熱マネジメント課題の解決に向けて、
引き続き各地で拡販活動中



 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

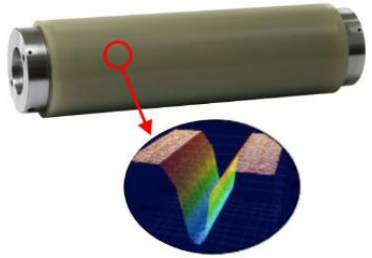
5.　事業の取り組みの進捗

既存事業の強化 －ソリューションビジネスによる拡販（ウレタン、シール）

半導体シリコンウェーハ製造用ワイヤーソーのウレタンローラー世界トップシェア（防振セグメント）

■ **半導体需要増に伴い製造装置の需要の好調を受け、当社ウレタンビジネスも伸長**

・一貫生産でお客様のトータルソリューションに対応し、
　国内の大手製造装置メーカーに採用
・当社の独自開発技術で長寿命化と大物成型を実現
・台湾の半導体装置メーカーからも受注を獲得



インゴットワイヤーソー用メインローラー



ワイヤーソー用ローラー、ウレタンプーリー

半導体製造装置のシール部品拡販（機能品セグメント）

■ **半導体製造装置の需要の好調に伴い**
当社シール部品も拡販を図る

・原価低減による価格競争力強化
・グローバル供給体制の活用





半導体関連の売上の拡大、新規顧客の獲得、事業領域拡大を目指す

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　事業の取り組みの進捗

成長事業・新事業の拡大 – ライフサイエンス

中国における液体培地製造を開始

■東莞富国内に**医療機器２類対応可能な最新液体培地製造施設**を建設中
（2027年7月生産開始予定）



リンパ球用培地



MSC培地









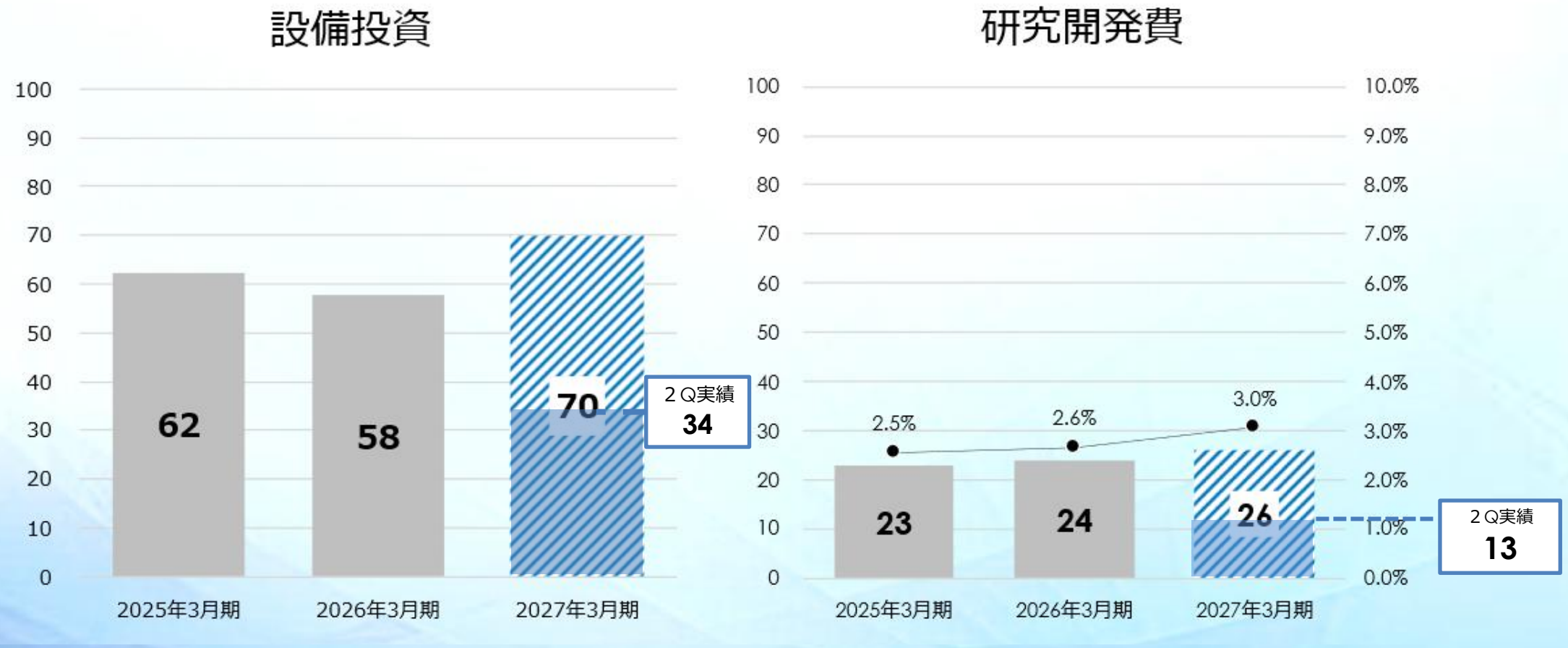
世界最大市場の中国で現地生産を強化し、拡販を目指す

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　事業の取り組みの進捗

設備投資、研究開発費

単位：億円
—●—：売上高比率



営業キャッシュフローの大半を設備に投資、開発費も計画通り推進中

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　次期中期経営計画に向けて

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　次期中期経営計画に向けて

次期中計に向けて

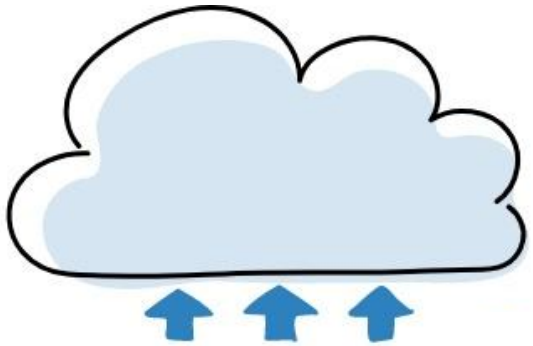
今期は持続的成長のための強固な事業基盤構築を最優先とし、事業運営の強化に励む。

2026年度を変革フェーズと位置づけて、
稼ぐ力の更なる向上、市場戦略強化、モノづくり力強化、M&Aも活用した新規事業の立ち上げを
重点項目として変革に取り組んでいる
第2四半期は特に「稼ぐ力の更なる向上」、赤字・不採算製品の削減、原価低減の推進が奏功。

これら2026年度の変革フェーズの取り組みを発展的に継続し、
今後公表予定の2027年度を初年度とする次期中期経営計画において、
稼ぐ力の強化を軸に収益性・資本効率を高め、持続的成長と企業価値向上を目指す。

長期的には、**当社独自のコア技術で高付加価値商品やソリューションを提供する**ことで、
サステナブルな社会の実現に貢献できる“心から愛される企業”を目指す。

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.



















FUKOKU

あらゆる願いを、感動に変える。

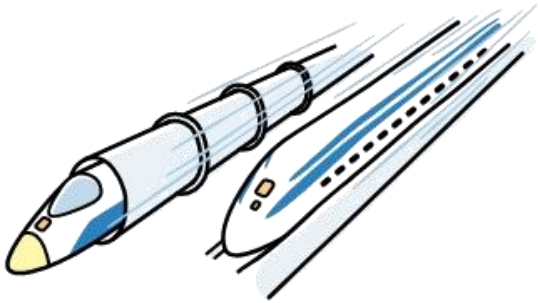
















FUKOKU

Yes, We Do!

注意事項

- 本資料には、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報に鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

2026年11月18日　株式会社フコク

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.